昭和59年
9月1日
第224号
発行 津奈木町役場
編集 企画課
印刷 水俣旭印刷所

つなぎ 町報

人口と世帯
（8月1日現在）
人口 6,217（－4）
男 2,972（－4）
女 3,245（0）
世帯 1,717（＋2）
（ ）内は前月との比較

森林組合、旧役場前に移転

森林組合では旧役場前の国道に面した建物（消防車などの車庫に利用されていた所）を改装してそこに、22日から仮事務所を設けました。

今後はこの仮事務所で業務を行ないます。

▲「よろしく…」森林組合仮事務所

晩秋の食欲に的……新しく〝秋ナス〟を試作
定着する秋物果菜づくり

和気あいあいの共同作業で、大切に育てきた、育苗センター（小津奈木）の秋作物のメロン、トマト、ナス。予定どおりの良苗で、先月、二十五日頃から、一斉に定植はじまった。今年植付けられた本数は、メロン一ハウス施設は、年間春と秋に利用しようというもので、今年、二作の目標は一五〇万円。結果が注目されている。

メロン・トマト

昨年は採収時に気温が高かったため、熟れ過ぎて失敗した秋メロン。今度は反省して、十日遅れるようにしたそうだ。

今年は六戸で六〇アール栽培する。品種はアールスメロンで十一月中旬から出荷して、反収八〇万円を目ざす。

また、昨年好調だったトマトは三戸で二〇アール植え付けられた。抑制果菜は、春よりも量は少ないかわり、経費がいらないという。秋トマトの収量は春物の半分、反当り三～四トン、売上げをメロンと同じ七〇～八〇万円を見込んでいる。

秋ナス

「一人で作るのはもったいないなかったので、みんなにもすすめた」と話してくれた内野の山口幸太郎さん。昨年はじめて秋ナスを試作して、上々の成績だった。

秋メロンも山口さんから普及している。おかげで秋ナスを今年は四戸が試作する。二十アールで百～百六十万円を達成できればと期待がかかる。〝嫁に食わすな〟の秋ナス。

結果しだいで、来年から本格的な栽培も考えられている。

漁協婦人部水産加工場建設
―自然食品におふくろの味―

去る、七月二十六日、漁協婦人部では、平国の漁協西浦の隣接した所に、水産加工場を建てた。この加工場は小じんまりとした、プレハブ造りになっている。

現在、製造しているのは、タチとグチのみりん干しの二種類。

水産加工は約一年前から、婦人部員が家内製造していて、今度、この水産加工を指導する漁協参事の新立さんは、「今後は新しい製品も検討中」と意欲的である。

尚、漁協婦人部では「お盆には〝品切れ〟で大変御迷惑をおかけ致しました。お詫び申し上げます」と恐縮している。

注文は漁協（☎二〇一五八）へ。

グチ・タチみりん干し一袋四〇〇円。

▲秋果菜類の苗づくり（農協育苗センター小津奈木にて）

〝盛会だった〟

お盆の八月十四日、商工会青年部・婦人部主催で、約二〇年ぶりに「津奈木町夏まつり」を町民広場で開催した。

第一回夏まつり

このまつりにはつなぎ町・津奈木町商工会の後援と、連合婦人会・青年団、交通指導隊の協力を得た。お陰で約一二〇〇人も参加してもらい盛会だった。

まつりの、広場中央に、ちょうちんを飾った舞台がつくられ、周囲には、青年部、婦人部、青年団商店会が出した夜店が会場を盛りあげ、午後七時爆竹の合図で始まった。ビッチェ・カラオケ大会・町民総参加の俺はやし・おまんた囃子にのった盆踊り、一般カラオケ大会の催しでにぎわった。

また、盆で帰省した、なつかしい顔もみられ、商工会で配られた「ぐちわ」を手に、わが町の夏まつりを楽しんでもらって本当によかった。

（文・商工会青年部）

◦物品寄附（香蘭社から）
津奈木町商工会へ
夏まつり（盆踊）用に「紅白ビニール提灯」四〇個を頂きました。

町内長寿百傑 いつまでも元気で

現在、わが国のお年寄り（65歳以上）は1千百万人を越え、総人口の約10％を占めています。熊本県は12.5％、津奈木町は17.6％です。この割合は今後ますます増えるものとみられ、33年後の昭和90年には20％を超えると予想されています。5人に1人がお年寄り ― 高齢者問題は今や国民全体の課題であると言えます。9月15日は「敬老の日」、15日～21日は「老人福祉週間」です。

斉藤チクさん

（昭和59年9月1日現在）

順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令
1	中尾	斉藤チク	96	21	浜崎	伊藤竹久馬	89	41	日添	元村己代次	91	61	上下門	門崎善太郎	87	81	中尾	坂口寿太郎	86
2	倉谷	楠本十市郎	95	22	内野	沢田 藤十	〃	42	古田中	山川甚太郎	90	62	大泊	椎葉 忠義	〃	82	染上	下川 重義	85
3	竹	鶴野 ツジ	94	23	倉 〃	前田サトエ	88	43	中尾当	前田サトエ	〃	63	桜	本山 辰喜	〃	83	下門当	谷口 重義	〃
4	古中尾	今川 ミゲヨ	〃	24	桜	岩本 ツキ	〃	44	大泊	山口 幸太郎	〃	64	中戸	成田 タヨ	〃	84	上日当	伊藤四郎作	〃
5	日浦	桜田 才吉	〃	25	桜	沢田 才吉	〃	45	福浦	福田 弥作	〃	65	大古中	佐々木サエ	86	85	浜崎	福島 末喜	〃
5	佐々木	倉次	〃	26	日添	岩崎 新蔵	〃	46	浦泊	柳迫ヨシ	〃	66	中尾	久村 篤	〃	86	〃	前坂 一	〃
7	〃	林田 荒喜	〃	27	中平	平居 己由	〃	47	〃 浦	山本 茂吉	〃	67	浜日	林 津久茂	〃	87	日添	開田 惣吉	〃
8	小津奈木	永里 勝人	〃	28	国下	浜田 嘉市	〃	48	福尾	福山 チワ	〃	68	日添	佐々木貞吉	〃	88	日添	津々木イノ	〃
9	竹日	鶴野 満真	93	29	中内	豊田 タキ	〃	49	中日	農中 セト	〃	69	日町	志崎 鳥末	〃	89	日添	諫山 智	〃
10	竹田	浜田 シモ	〃	30	染日	前田 チエ	〃	50	大泊	伊藤 キモ	〃	70	倉国	岩本キクノ	〃	90	平国下	平野 ツルエ	〃
11	平田	浜田 シモ	〃	31	桜	竹田 ツヤ	〃	51	古泊	中村 マサ	〃	71	谷上	野崎 トメ	〃	91	国当	山下 ミチ	〃
12	日	吉野 藤寿	92	32	桜日	佐々木キノヲ	89	52	古尾	山崎直次郎	〃	72	上川	船場 長市	〃	92	日	森本 チキ	〃
13	小津奈木	中村 ツヨ	〃	33	桜日	前坂 スヲ	〃	53	新中	浜本マツノ	〃	73	平国下	長浜 チヲ	〃	93	〃	平田スエノ	〃
14	大日	松本 ハマ	〃	34	平国	若島 忠馬	〃	54	古尾	川野 カノ	〃	74	小津奈木	水松清次郎	〃	94	上下	谷口 慶八	〃
15	松田	長三郎	91	35	平国	長浜 チソ	〃	55	大泊	柳迫 次三	〃	75	染中	鶴山ツルシュ	〃	95	川日	川内 添	〃
16	林田	ムカ	〃	36	平国	川崎 キツ	〃	56	小津奈木	石田 かつエ	〃	76	尾川	原野シズモ	〃	96	古日	吉野 シゲル	〃
17	浦口	スエノ	〃	37	中平	農口 ルイ	〃	57	中日	福田 ノエ	〃	77	新中	浜本庄三郎	〃	97	古染	田口 ユミ	〃
18	開田	キミ	〃	38	国上	諫山 彦市	〃	58	日平	諫山 雪太	87	78	古国	芦浦 サキ	〃	98	染中	高見己代次	〃
19	〃	宮島 持平	〃	39	日添	林田 義人	〃	59	古国	長浜 善吉	〃	79	日	松本 安登	〃	99	新国	川崎 ノン	〃
20	染竹	蟻川 サク	〃	40	〃	林田サヽヲ	〃	60	古	山本 チ	〃	80	日	上村 トシ	〃	100	平国下	長浜兵次郎	〃

八月 発註工事

林業構造改善事業
◦林道三ツ峰（1工区）線
新設工事
事業費 一七、九二〇千円
事業量 延長 五八〇m
巾員 四・〇m
工期 八月二〇日より
六〇年二月二日まで
大園建設（㈱）
◦林道三ツ峰（2工区）線
新設工事
事業費 一五、〇八〇千円
事業量 延長 四一〇m
巾員 四・〇m
工期 八月二〇日より
六〇年二月二日まで
野崎土木（㈱）

民有林林道開設事業
◦林道荒峰線新設工事
事業費 一八、一六〇千円
事業量 延長 五五一m
巾員 三・〇m
工期 八月二〇日より
六〇年二月二六日まで
村上建設（㈱）

九月の行事

八日 県総合青年祭 九日まで 場所 宇土市
九日 津奈木保育園運動会
津 南保育園運動会
一四日 敬老会 改善センター
二二日 県民体育祭 玉名市
二三日まで
二三日 平国小学校運動会
二五日 B&G九州地区二級育成士養成研修会
二九日まで
二六日 町民体育祭卓球大会
二八日まで
三〇日 幼稚園運動会
津奈木中学校運動会

ともに歩いて21年
兵庫県立尼崎西高等学校
（中尾出身）門崎博臣
（最終回）

そんな状況の中で私は生徒に何をしてやれたか。私はこの地域の生徒達が「俺らは何してもだめだ」と思い込んでいる生徒に空手道修行を通して劣等感を取り除いてやることだと確信しました。そのため組織的に部員共々、校内の便所掃除によりスタートしました。いつまでも空手の技術を教えてもらえないため一人、二人と同志は減っていきましたが、その中から五名が残り、のちのクラブに承認される基盤を築いてくれました。その後、昭和五十三年に正式なクラブとして認められると同時に練習は益々厳しさを増していきました。創部二年目には部員の中より生徒会副会長をはじめクラスの核となるよう模範生徒が続々と育ってきました。それと並行して対外試合において輝かしい戦績を残すようになり、昭和五十三年度には、西日本高等学校空手道選手権大会に男女共、優勝を果してくれました。次いで昭和五十七年度全国高校空手道選抜大会に女子部が夢にも見なかった全国制覇、それも団体、個人の二種目優勝を遂げ、さらにこの勢いはとどまることを知らず同年十一月、中華民国で行われた第六回世界空手道選手権女子組手六キログラム超級において見事に銀メダルを獲得してくれました。その外、昭和五十八年度全日本強化選手（ナショナルチーム）に本校卒業生が男女四名が選出され日本空手道界に新風を吹き込んでおります。

兵庫県、否全国で非行件数が〝ゼロ〟と言われたこの地域から日本を担う、晩秋の食欲に的……新しく〝秋ナス〟を試作

夏の町民体育祭
野球・競舟共に平国下優勝

夏の風物詩となった恒例の、盆野球大会、競舟大会が十三、十四、十五日の三日間盛大に行なわれました。

結果は、平国下チームのアベック優勝、陸に海に強豪ぶりを披露しました。

結果
野球大会
（13・14日）
優勝 平国下
二位 大泊
三位 古中尾
竹中
競舟大会
（15日）
優勝 平国下
二位 大泊
三位 日当

身体障害者巡回相談所開設

◎相談内容
一、身体障害者としての手帳の交付を受けた方、手帳は持っているが障害程度が著しく変化した方
二、補装具の交付や修理の処方診査
三、更生医療に関する相談
四、その他職業や生活など更生相談
◎場所及び時間
〔水俣市公民館
昭和五十九年九月一二六日〕
〔田浦町農業改善センター
昭和五十九年九月二十七日〕
受付時間は、どちらの会場も、午前十一時～午後二時までです。
※母子健康手帳を必ず御持参下さい。

急性灰白髄炎（ポリオ）予防生ワクチン投与

昭和五十九年度後期急性灰白髄炎（ポリオ）予防生ワクチン投与を次のとおり実施します。

一、日時及び場所
昭和五十九年十月二日(火)
午後一時三十分から午後三時まで
津奈木町改善センター
二、対象児
昭和五十八年十月一日から昭和五十九年六月三十日までの出生児。
※母子健康手帳を必ず御持参下さい。

警察官（高校卒）採用試験

昭和五十九年度熊本県警察官採用試験が次のとおり実施されます。

一、受付期間
九月一日(土)～九月二十日(木)
二、試験月日
第一次試験。十月二十八日(日)
第二次試験。十一月二十七日(火)
二十八日(水) 予定
最終合格発表 十二月上旬
三、試験地
第一次試験 熊本市・八代市
第二次試験 熊本市
四、受験資格
昭和三十二年四月二日から昭和四十二年四月一日まで生まれた男。
五、受験申込
受験申込書は警察本部警務課及び最寄の警察署警務係で取扱っています。
詳細については、水俣警察署警務係（0966・3・2171）へお問い合わせください。

試験案内

熊本県職員（高校卒）採用試験

昭和五十九年度の熊本県職員（高校卒）採用試験が行われます。

一、受付期日
昭和五十九年九月一日から九月二十日まで
二、試験月日
第一次試験 十月二十一日
第二次試験 十一月十九・二十日
最終合格発表 十二月上旬
三、受験資格
昭和三十八年四月二日から昭和四十二年四月一日までに生まれた者。ただし、交通巡視員は女子に限ります。
◦申込方法その他詳細については津奈木町役場総務課へお尋ね下さい。

長期低利資金で土地改良を！
「非補助土地改良資金」

国の補助金を受けなくて土地基盤整備事業をしようと希望する人には、農林漁業金融公庫から長期低利の資金融資が受けられます。

一、借入れ資格
農業を営む個人、又は数人共同
二、利用できる事業
ほ場整備（圃場整備）、農道整備（もち可）、水路、ため池等の補修改修、暗渠排水、コンクリート畦畔など。
三、貸付の条件
利率 三・五％
償還期間 二十五年以内（内据置十年以内）
四、その他
事業費二〇〇万円未満の借入は設計書に替えて複数の見積書でよい。
ご希望の方は役場土地改良係、又は農協へご相談ください。

秋の全国交通安全運動

麦茶サービスで安全運転

夏の交通事故防止運動期間中の旧盆帰省の車を対象に八月九日、十日の二日間、上下門の大塚石材店横一麦茶サービスを行ないました。安全協会、安管協、婦人会、住物商連、信用金庫、農協、商工会、役場職員の皆様は大変御苦労様でございました。特に住物冷凍からは二日間の氷を提供頂き、コカ・コーラ水俣営業所、ペプシ・コーラ水俣営業所からはそれぞれドリンク三〇〇本を御寄贈頂きました。

また津奈木幼稚園は手作りの千羽鶴に「交通安全」のしおりを付けて一人一人に手渡し喜ばれました。今後共皆様方の参加と御協力をよろしくお願い致します。

つめたい麦茶で安全運転

作文募集

テーマは「我が家の交通安全」
◎小中学校の部は各学校に連絡します。
◎母親・一般の部は、四〇〇字詰原稿用紙五枚以内。くわしいことは総務課防災交通係におたずねください。
ふるって御応募くださいますようお願い致します。

津波襲来

地震につきものの津波は、何時何処に発生するかわりません。

津奈木も津波の被害を受けた記録があります。いざという時に備えて訓練が行なわれます。

九月四日 午前九時五十八分

天草灘でマグニチュード七・一の地震発生という想定で県下一斉に訓練が実施されます。本町でも、消防団の非常呼集や役場職員の緊急配置訓練、赤崎小学校の避難訓練等が行なわれます。そのため、サイレンの吹鳴、半鐘の連打などが行なわれますので、直接訓練に参加しない方も、もしもの時の心構えや、避難についての家庭内の話し合いを是非行ってください。

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
上下門	平松ミチヨ	正一
桜戸	吉野マキ子	耕二
平国下	野崎 孝義	義信
平国上	浜田 俊治	サガ

右のかたがたから町社会福祉協議会、香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金は、ご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

（敬称略）

お知らせ

大びょうたん（斉藤宗三さん宅）
「このひょうたんは愛媛県西条市の本田道雄さんから種子をいただき丹誠こめて育てました」
※希望の方には種子を分譲します。
申込は役場企画課まで

衛生係より
妊産婦検診の実施について

次の日程で妊産婦検診を実施しますので、母子健康手帳御持参のうえ是非受診ください。

一、実施日時及び場所
昭和五十九年九月十九日(水)
午後一時三十分～三時
津奈木町改善センター（和室）
二、対象者
妊娠九カ月以内の妊婦及び一年以内に出産された方
三、検診内容
血圧測定、貧血検査、検尿及び妊産婦健康相談等

一般健康診査及び健康相談

昭和五十九年度一般健康診査及び健康相談を次のとおり実施します。

一、日時
昭和五十九年九月二十七日午前九時三十分から午後三時まで
場所 福浦公民館（福浦部落）
二、日時
昭和五十九年九月二十八日午前九時三十分から午後三時まで
場所 改善センター（大泊部落）
三、熊本大学医学部公衆衛生学教室の先生方により実施します。
四、対象者 満四十才以上の津奈木町在住の方です。
五、料金は無料です。